



日刊新聞 日九十月八
日刊新聞 日九十月八
日刊新聞 日九十月八

断じて粗末にせぬ 明日廢品拂出デー

各種屑もの只今の相場

經濟戰總動員週間は去る十九日
から明二十一日まで實施中
であるが同期間に於ける必行
事項物資受渡の國家に沿ふ古
釘一本でも断じて粗末にしな
い廢品拂出デーは明二十日
に回收總動員本部が常に右
の一品にも留意されて捨てず
に置かれる各家庭へ買ひ出し
に行かれる筈だが只今の相場
は左記の如くである

▲下記は何れも一貫目當り

- 機械廢物五五錢 鐵屑三〇
- 釘及び針金屑一五 プリキ
- 屑一〇 潰自轉車二〇 鐵
- 釜二五 ニューム屑四〇
- 錫物ニューム屑二〇 上銅
- クズ三圓 下銅屑二圓五〇
- 眞鍮屑一圓八〇 唐金二圓
- 二〇 鈾金三圓五〇 鉛管
- 屑一圓八〇 鉛屑一圓二〇
- 煙草銀紙一圓五〇 亞鉛屑
- 一圓 モス、毛糸四圓
- ロ二五 古綿八〇 古雜誌
- 二〇 古新聞三五 紙くず
- 三錢 ゴムくづ四錢 一升
- 王冠五錢 一升キカイ
- 三錢 ビール壺一錢 サ
- イダー壺二錢 ニリットル
- 壺四錢

廢品決定値は 最低價格

明日の廢品デーに
經濟戰總動員週間に於ける明二

公會堂の落成式 來月十日頃か

來廿二日に打合せ
平市公會堂本館の落成式は館
内裝飾調度も八、九分通りま
で出来上り残るものは銀帳そ
の他となつたのである二十二
日午後一時同建築委員及び市
參事會を會し式の諸準備を
協議の筈であるが來月中旬に
は非常時下に於ける防空演習
を行はれるので遅くも其の以
前に於て舉行したい意向の如
くであるから多分九月十日（
土曜日）頃になるであらうと
注意されてゐる

中野家 五百五十圓 の寄附 時局柄に應はしき美舉

平市田中野齒科醫院院長中野
憲治氏が亡父浩忠翁の葬費を
節し市の軍事後援會及び同社
會事業助成會へ寄附されたこ
とは昨報したが同家が郷里神
谷村に於ける今回の葬儀に當
り地方從來の慣行であつた香
奠返しを廢されたのは故人の
固き遺言と同村振興會の申合
せを尊重されたもので出来る
だけ簡素に行はれた節約によ
る各種関係への寄附は左記の
如く時局柄殊に其の譽を一般
から賞されてゐる

- ▲金五十圓 平市軍事後援會
- 廿圓 同社會事業助成會 同
- 二十圓 在郷軍人平聯合分會
- 金二十圓 國防婦人會平支部
- 金三十圓 警備隊司令部 金三
- 十圓 平商業學校（父兄會へ

常識講座

煩瑣哲學とはカトリッ
ク教の教義をギリシヤ
哲學によつて組織付け
やうと企てた既存の哲學
を殊更に組織化して理
由付け様とする事を本
義とする哲學一名スコ
ラ哲學とも呼ばれてゐる
あつたが都合上警備隊高女講堂
に會場を變更同時刻より開講
東部から聘請する女子史の熱辯
が正午まで續けられる由であ
つて來聴には愛婦國婦その他
成るべく婦人一般の參集を歡
迎する

戦地 不幸敵彈の爲め 右肩に貫通銃創

平市新川町出身 馬目 勝雄
拜啓、其の後には永らく御無
沙汰致し誠に申謝之なく平
に御許被下度伏して御詫申
上候、皆々様には御家業に
御精勵の上聖戰下銃後の護
として一意思國防に専念せら
れ且つまた第一線のお々に
まで絶大な御聲援を御送
り被下御熱誠なる御厚情の
段深く感謝致し申居り候、
小生事、六月〇〇日某方面
に出動いたし暑熱土石を操
く酷暑の苦を堪え渦巻く砂
塵風土の閉道を日夜強行軍
を續け水なき平原に水を求
めて飢えつゝ、龍海線の南方
を西進中急遽敵と遭遇雨と
降る十字砲火の下を専心任
務遂行中不幸、敵彈のため
右肩に貫通銃創を負ひ身体
の自由をうしなひ、即日後
送されるの止むなきに至り
其の後轉々野戰病院に治
療、七月上旬全快、現在新
任地に到着意欲深き東部警
備の重任にあつて皆々様の
御健康を御祈り申居り候間
他事ながら御休神下され度

補給金の配分 昨年の約半分

平一萬八千圓余
各町村に待たれた臨時財源補
給金の一般交代は急よ決定發
表されたが平市に對する配分
額は一萬八千四百一十一圓で次
ぎに特別交付があるにしても
此の率に準ずるものと想像さ
れ昨年の交付金三萬二千二百
四十五圓に比し五割七分で四
割三分の減額である尙ほ前年
の特別交付は七百八十八圓で
あつた

故大越中佐の令 妹時局寄附數々

石城郡内郷村の郷士秋山淺
ゆきさん（六六）は故大越中佐の
令妹で今次半變の勃發以來皇
軍の武運長久に祈願をこめ老
の身の自らの働きて第一線の
將士に對する慰問袋をつくり
又は出征軍人遺族慰問の資
を寄附してゐるが去る舊盆に
花の莖「シキミ」を採つて賣却
した金五圓を國防費に献金方
を今十九日平市役所に寄託す
大谷市議から

平授産所に 掛時計寄附

平市三丁目市議大谷武雄氏は
舊盆の佛事費節約により時計
なしで困つてゐた市の社會事
業助成會授産所に掛時計一個
（價二十圓）を今九日寄附す

石城販利總代員 平市から三名

石城販利の總代員満期改選は
明二十日午前九時から午後三
時まで關係町村一齊に行はれ
るが平市の同有権者は一三〇
名で定員三名、選挙立會人は
吉村安次郎、渡邊佐七の兩氏
である

平製氷の水道給 水量年に三萬石

平市大工町の平製氷會社に於
ける市上水道昨十二年度の給
水量は五千四百四十五立方尺（二
萬八千二百七十石）で此の料
金は三百三十九圓十二錢である
が本年は夏季に於ける暑氣が
薄かつたのとアイスキャンデ
ーに氷水のお株を荒されたの
とで若干減少の模様であると

人絹の職工 五体滅茶

石城郡勿來町の大高小松重郎
方同居人昭和人絹工場職工
宗像四郎（三三）は去る十八日午
前一時頃同工場晒工場二階で
作業中撒布機のベルトが外れ
たのを直さうとした際着衣を
機械に巻き込まれて五体を喰
はれて全身切れの慘死を
を「連日の奮闘にも拘らず
將軍は寸暇を割いて庭前江
南の秋花を愛で陣中にも閑
雅あり」と將軍の紳々たる
情趣を證してゐたが、私は
これを讀んで非常に打たれ
た、私の水石を鑑賞する氣
持も趣味の向上は勿論であ
るが、その反面戦禍中にも
水石ありといつたやうな強
くして餘情ある忙中閑暇な
祭國氣に心一杯浸る事が、
煩雜な生活に迫られてゐる
近代人の選ぶべき行き方で

歸省漫筆 目黒より 勿來庵

諸根 生
次に水石の産地についてお
話したいことは、現在水石
の先進地は京都の加茂川
石や鞍馬石、或は岐阜石な
ど主として關西方面にその
王座を奪はれてゐたが近來
はやうやく東北方面にその
存在が認められて來たやう
である、殊に最近グン

強姦事件後報

昨報石城郡江名町の強姦事件
犯人同町江名字南町漁夫畔田
芳雄（二〇）は十七日町内飲食店
ナブト屋高橋洋法方で飲食
し女中佐藤すい（二四）に獨り思
ひをかけ深夜十一時過ぎすい
が同町天神湯からの歸途を擁
し附近の漁業水産組合倉庫裏
に押倒したが頑強な抵抗に望
みを果し得なかつたもので女
は全治一週間の打撲傷を受け
た一件費額今日送局さる

雲州神國印ソロバン
優勝印高級ソロバン
く印高級ソロバン
ウエル 萬年筆
ライトインキ
ムツソリニペン
玉泉堂の書道筆
古梅園の書道墨

代理店
魁文堂

御談ひの既製品
高層洋服店
三三三六

あることを切實に感じたこ
とが動機となつたものであ
る、尤も右の見地は皆て本
年六月四日發行の河北新報
に「一日一題」なる標示の下
に水石の鑑賞として元三郎
氏の言が引かれ普ねく天下
の之が同好の士に斯道の人
人が東垂地に在ることを知
られたほどであるから、氏
の自然人としての新発見を
私は更に同紙に見出したわ
けだ（夜十二時鶴居旅館に

皮革原料を 水産物に

品質は猫皮を凌ぐ
この研究は十数年以前から一部で熱心に進められてきた、今水産動物として實用皮革の原料となり得るものを考へて見ると、あしか、あざらし、おつとせ、鯨、海豚等の哺乳動物から鯨、ふか、鮪等の魚類が挙げられる、しかし過去から今日まで研究の對照物として常に挙げられたものに殆んど鯨ふかに限られてきたかの感がある、何故であらうか、以下鯨皮について述べて見ることにより、

鯨は我が國の近海に多數棲息するので漁獲も比較的容易である、肉は食用とされるので諸外國の如く皮革を得るためにのみ漁獲される場合に比して、いはゞ副産物であるから安値に得られる、皮質は他の魚類に比し強靱で厚い點は事業として有利な條件なので研究が自らこゝに向けられたわけである、出来た製品について見ると表皮が極めて堅固であるため、これを靴の甲皮とした場合、革の中、岩礁の間を歩いても表皮の剥脱がない、これは表皮の剥け易い陸上動物皮に比して極めて優秀な特徴で殊に活潑に歩く若人にとつてはあつらへべきの好條件である、また皮質を構成する繊維が陸上動物皮の綿を押し固めたやうな不規則な排列に比してこれは織物の如く規則が正しい。

暑中御伺

石城郡植田町長

新妻盛

石城郡四倉町長

平電気株式会社

木炭移出問屋

草野米彌商店

磐越東線 小川郷驛前

平看護婦會

會長 清野キヨ子

平市南町 電話七〇三番

石城郡町村長會

會長 伊藤淺之助

銘酒「花の井」醸造元

大平睦四郎

石城郡勿來町 (電話五七番)

鐵道公認 日野運送店

常磐線 緩驛前

石城郡勿來町

郵便局長 赤津一

◆一般印刷物も
御引受致します
新しいわき新聞社
印刷部

牛も豚も優良品の自慢

平市田町 三三三 肉の御用命は

正確な体温計
寒暖計
計量器指定販賣
平市五丁目角
山野邊藥局

日	月	水	木	金	土	日
品目	品目	品目	品目	品目	品目	品目
價目	價目	價目	價目	價目	價目	價目
品目	品目	品目	品目	品目	品目	品目
價目	價目	價目	價目	價目	價目	價目

特別メニューの
ランチは...
材料のおまかせを願つて居る為め其の節々のおいしい新鮮な物を御進め出来たので御客様からいつも御好評を蒙つて居ります

RESTAURANT MARETCMC
堂食モトルマ
平市南町
電話 二二三

専門 皮膚科
泌尿器科
性病科
診療時間 午前八時より午後九時まで
院醫尻江

醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九一番

平病院 (平市元共濟病院跡)
電話六四一番
院長 醫學博士 鈴木定藏
内科 部長 鈴木定藏
小兒科 部長 佐藤幾要司
皮膚泌尿器科 部長 高橋俊幸
外科 部長 鈴木定藏
物理療法科 部長 鈴木定藏
薬剤科 部長 吉本孝平
診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に從事す(急患は此の限にあらす)

債券 公債 兩替 金融
多田井質店
平市大工町 電話五九一番

良品の自慢
食品店
電話 二二三

便利で
經濟な
日下家政婦會の
派出婦を御利用下さいませ
身元確かで品行方正ですから
何をお任せしてもご安心です
平市田町十八(西村原町)
◎ 日下家政婦會
會長 日下すい子
電話 七二三番

根本婦産科科醫院
平市南町
根本莊次郎
根本貞雄
(入院隨時)
電話 三四番